

生徒指導通信

新潟県立三条東高等学校
生徒指導部
令和元年9月27日 No.6

○オープンスクール・東高祭（文化祭）終了！

今月は9月5日、11日に来年度受検生となる中学生対象のオープンスクールが、14日には東高祭がそれぞれ開催され、本校以外の外部の方々が来校される機会が多くありました。

オープンスクールでは2日間で679名の中学生と引率者が来校し、授業をしている様子や学校の概況説明、放課後には部活動の状況など見学しました。来校した中学生からは「〇〇先輩が授業中を真剣に受けていた」、「△△先輩が概況説明の時に説明してくれた」等、それぞれの出身中学の先輩に注目が集まっていたようです。

また、東高祭では各クラスの企画、部活動・同好会の発表も第一体育館改修のため使用できないにもかかわらず、それぞれの場所で活気ある活動がなされ、一般公開の開始時間から終了時間ギリギリまで、大盛況の様子でした。

いずれも三条東高校生の良さが外部の方々に伝えられた有意義な9月だったように感じます。今回のような行事でなくとも注目されています。三条東高校の良さが伝わるように普段の何気ない学校生活も襟を正し、活気あるものにしていきましょう！来年度の受検生が「三条東高校を目指したい！！」と思える学校であるように……。



○衣替え【確認】



最近、めっきり涼しく過ごしやすくなりました。衣替えも済ませ、引き締まった制服姿で登校する生徒達の姿が凛々しく見えます。しかしながら、夏服から冬服へのチェンジは細かいところまで大丈夫でしょうか？上着だけ上から着るのではないことは周知の通りで、各教室にも掲示されていますが、改めて注意点を記載しますので、確認してください。制服を含め身だしなみについて修正が必要な生徒はすみやかに直すこと。保護者の方も御一緒に御確認ください。

①校章バッジを付ける（男子は左襟、女子は左胸ポケットの上）

※校内で過ごす際、気温が高く上着を脱ぐ場合はYシャツ・ブラウスにバッジがついていること。

②上着の下にはYシャツ・ブラウスを着用する。

③セーター・カーディガン等の着用はしない（着用可能な時期：11月～3月）

④男子のズボンはウエストの位置を正しく、下げて着用しない。（腰骨の上でベルトを締める）

・女子のスカートはウエスト部分で折って、スカート丈を短くしない（目安：裾が膝頭にかかる）

⑤女子のブラウスは第一ボタンを締め、リボンのひもがゆるくならないように着用する。

上記の衣替えの他、茶髪になっている生徒が少数ですが、非常に目立ちます。そのような生徒には表面だけでなく、心から気を引き締めて正しい心（こころ）替えることも必要です。

○登下校時のイヤホンはしない！

秋の交通安全週間の街頭指導の際、目立ったこととして、登下校時（自転車、歩行者を含む）のイヤホンの着用が見られました。周囲の音が聞こえづらい状況や注意力がなくなる、また、不審者から狙われやすい等、危険な状況となるのでしないようにしてください。



○自転車保険のススメ・・・

警察庁の調べによると自転車事故の死傷者がいちばん多いのは16歳という結果が出ています。

自転車事故は本人が事故にあうリスクだけでなく、他人にケガを負わせてしまう可能性もあり、過去には小学生がおこした自転車加害事故で約9,500万円の賠償支払いを求める判決が出たこともあります、また、最近ではながらスマホ操作での衝突で死亡事故も発生しています。



このような背景から、自転車保険の義務化を進める自治体が増えてきている状況もあり、加えて「ながら運転」の罰則もより強化される見込みです。

自転車は免許が不要で、誰でも乗ることができる身近な乗り物ですが、法律的にみれば軽車両であり、自転車による事故は交通事故となります。万が一に備え、自転車保険への加入をおすすめします。

○“いじめ”について理解を深める～「シンキング・エラー」と「アンバランス・パワー」

以下の文章は新潟県いじめ対策ポータルのHPより抜粋しました。

いじめる側は多くの場合、加害行為を正当化します。その理由は「相手が悪いから」や「遊びだから」などです。問題は、それがいじめを追及されたときの言い逃れではあるけれど、自身の加害行為をある程度本気にそのように認識している点です。いじめが悪いと知っていながら自身の行為をいじめだと認識しない、いじめ加害の注目したい現実です。気付かないうちに加害者になりうる、すなわち『誰でも加害者になりうる』が成立する理由だと思えます。和久田学(※)は子どもにも伝えたい“いじめ加害を考えるキーワード”として「シンキング・エラー」と「アンバランス・パワー」を提唱しています。シンキング・エラーは、いじめをしていてもいじめと気付けない、「あれは遊びだった」「これは注意、これくらいしないと」などと認識する、間違った考えのこと。アンバランス・パワーは「力の不均衡。被害者からみれば相手の力は強く、やり返すことも、嫌だということもできないというアンバランスのこと。

加害者たちは、「相手が悪いのだから当然」などとシンキング・エラーで正当化し、傷付くことを安易にエスカレートさせます。そこに相手の気持ちを考え共感する余地がありません。和久田は断言します。「いじめ加害者の最も顕著な特徴は、『共感のなさに基づくシンキング・エラー』なのである。」納得です。重要なキーワードだと思えます。



アンバランス・パワーの話聞いた高校生が『いじり』についての議論で「相手に言い返せるうちは『いじり』でとれるが、アンバランス・パワーが生じて言い返せなくなれば『深刻ないじめ』に変わる」という意見が生まれた例があるそうです。

※ 和久田学「学校を変える いじめの科学」日本評論社(2019)

○試してみよう…(「朝の声かけ」で感じたこと)

普段の自分の視線を気にしたことはありますか？特に歩いているときや座っている等の時はどうでしょうか？

視線が低いと背筋も前傾し、姿勢が悪くなります。加えて何となく表情も暗く見え、元気がないように見えます。

朝、生徒玄関で「朝の声かけ」をしていると、時間に余裕を持って登校する生徒の視線は低くなく、表情も明るく元気に挨拶を交わしてくれますが、時間ギリギリや朝学習の時間中、遅刻してくる生徒はどことなく視線も低く、挨拶も元気がないようにです。簡単にできることから自分の生活をプラスの方向へ変えていきませんか？

生徒についての報告・連絡・相談(ハウレンソウ)または御不明な点は学校まで御連絡下さい。

新潟県立三条東高等学校 生徒指導部 係：坂爪

TEL 0256(38)6461